

児童労働ネットワーク

2009 年度活動・予算計画

2009 年 10 月

2009 年度活動計画

<年間基本方針>

2004 年の発足以降、2009 年度で 5 周年を迎え、児童労働ネットワークの活動も積み重ねを経て充実化し、また会員、キャンペーン賛同団体も拡大してきた。

2009 年度は 6 月 12 日の児童労働反対世界デーに合わせたキャンペーンを軸として展開し、さらなる活動範囲、参加者の拡大を目指す。アドボカシー活動は、内部研究会を積み重ねて提言内容をまとめ、日本政府を対象とした提言活動を継続して行う。キャンペーンを活用して、市民の参加を提言活動につなげていく。

1. 児童労働理解促進のためのキャンペーンの実施

継続して、6 月 12 日の児童労働反対世界デーに合わせたキャンペーンを実施する。実施にあたっては、ネットワーク会員団体、キャンペーン賛同がそれぞれ企画・実施し、それを全体として取りまとめ、広報効果を高める。ウェブサイトを活用した情報発信も行う。また、提言活動を促進するための署名活動等、市民参加の企画もあわせて実施する。

2. キャンペーン メインイベントの実施

例年通り ILO 駐日事務所、NGO-労組国際協働フォーラムと共催で、キャンペーン期間中にメインイベントを実施する。

3. 政策提言活動

前年度の活動を引き継ぎ、児童労働問題に対する日本の取り組みを強化するための政策提言を行う。総選挙・政権交代を控え、当初 2008-2009 年度内に予定していた提出を選挙後に調整し、2009-2010 年度にあたる 10 月以降に提出することになった。(2009 年 10 月 21 日時点、文部科学大臣、外務副大臣へ提出済み。)

2010 年 5 月 10 日、11 日にオランダ政府主催の国際会議が ILO との協力でオランダで開催され、その期間に ILO がグローバルレポートを公開し最新の児童労働統計の推計が発表される。児童労働関係国際会議の開催、09 年グローバルレポートの発表の機会を利用し、提言活動を実施する。特に、2009 年の署名活動の提言内容であった NGO と政府が参加する児童労働に関する協議の場の設定についても実現を目指し、日本の児童労働問題に対するコミットメントを強めることを目指す。

これらの提言を行うための調査研究、及び会員団体の理解促進のために、内部研究会の開催も検討する。

さらに、一般市民が広く参加できるような署名活動を行い、政府に具体的な政策の実現も求める。

4. 国際的なネットワークの構築

児童労働問題解決に貢献する国際的なムーブメントやネットワークと連携を図るために、ウェブサイト英語情報の発信を増やす。2010年5月にオランダで予定されている政府主催の児童労働会議、またグローバルレポートの発表を受けて、他国のNGOと連携したアドボカシー活動を行えるよう、調整をする。また、助成金を獲得し、オランダの会議への出席、オランダでの他NGOとの会議開催、それを受けた報告書の作成を行うことを検討する。

5. 資金調達活動

ネットワークの活動を持続的に進めるための資金調達を行う。助成金への応募も検討する。また、キャンペーン単独で収支が成り立つように、キャンペーンの中でも活動資金の調達を行っていく。また、2008年度に助成を受けた草の根市民基金・ぐらんについては報告書を作成し、報告会に参加する。

6. 参加団体の拡大と活性化

児童労働ネットワークの活動や存在について広く発信し、会員団体、及びキャンペーンの賛同団体の拡大を行う。また、首都圏以外に事務所を構える団体についても、参加をしやすいようCL-Net総会出席への交通費助成を行うなど、会員相互の交流及び児童労働ネットワークの参加団体の拡大と活性化を促す工夫を凝らす。

7. 広報活動の強化

ウェブサイトのリニューアルを行い、英語情報もあわせて発信できるような形に整える。さらに、ネットワークを紹介するパンフレットもデザイン等のリニューアルを行い、印刷する。会員団体が児童労働ネットワークに加盟していることをアピールできるよう、各々の名刺に貼れる小さなシールを作ることも検討する。プレスリリースの発行、メディアへの取材依頼も活動にあわせて可能な限り行う。

8. その他

2010年はグローバルレポートの発表などもあり、児童労働に注目が集る機会である。適宜学習会、イベントなどを行う。

2009 年度予算計画

【収入】	(以下参考)		単位 (円)
科目	2008年度決算	2009年度予算	内訳等
1. 会費収入	376,000	436,000	
(1) 正会員	375,000	435,000	団体会員 1万円×40口(昨年度未収分2口を含む) 個人会員 5千円×7口
(2) 協力会員	1,000	1,000	個人協力会員 1千円×1口
2. 寄付金収入	6,429	10,000	
3. 事業収入	777,376	725,000	
(1) キャンペーン	293,876	275,000	賛同金5000円×15口、広告代50,000円×1口、広報費150,000円
(2) イベント、その他	0	30,000	
(3) 缶バッジ他	483,500	420,000	300円×1400個、または新しいグッズの販売
4. 助成金収入	500,000	2,000,000	国際会議出席、現地でのNGO国際会議の開催、報告書作成の資金のための助成金を獲得
5. その他収入	75,040	0	
当期収入合計 (A)	1,734,845	3,171,000	
前年度からの繰入金	291,378	388,920	
収入合計 (B)	2,026,223	3,559,920	
【支出】			
科目	2008年度決算	2009年度予算	内訳等
1. 事業費	1,242,744	3,150,000	
(1) キャンペーン	481,255	500,000	
(2) 提言活動	0	100,000	署名用紙のデザイン及び印刷費、外務省などへの働きかけ交通費
(3) 国際ネットワーク連携	411,756	2,000,000	オランダの国際会議への渡航費、宿泊費、交通費、報告書作成費
(4) 資金調達活動	349,733	250,000	新しい資金調達方法を考案し、その計画を実施するための費用
(5) 参加団体の拡大と活性化	0	40,000	会員総会、CL-Net開催イベントへの出席の交通費補助など
(6) 広報活動		250,000	パンフレットのデザインと印刷、短信用稿・印刷代、ウェブサイトのリニューアルと更新、名刺シール
(7) イベント・その他		10,000	イベントの会場費など
2. 管理費	393,999	348,000	
(1) 通信費	8,345	10,000	送料、交通費
(2) 消耗品費	15,124	20,000	封筒、紙等、ファイル、児童労働ネットワーク専用の金庫(5880円) 購入代含む
(3) 印刷費	108,130	70,000	印刷機・コピー機利用代、名刺等の作成
(4) 事務局運営費	260,000	240,000	20000円×12カ月
(5) ウェブ維持費	2,400	8,000	ドメイン管理料、サーバー代
3. 予備費	560	61,920	振込手数料
支出合計 (C)	1,637,303	3,559,920	
当期収支差額 (A)-(C)	97,542	-388,920	
収支合計 (B)-(C)	388,920	0	
次年度への繰越金	388,920	0	

(参考資料) 2009 年度運営委員および運営体制

児童労働ネットワーク内規（運営委員会規定）第 2 条に基づき、正会員団体の中から 2008 年総会にて承認された下記 9 名を運営委員の任期は 2 年目にあたるため、継続して以下の体制で運営を行う。

<2008-09 年度運営委員>

■代表

堀内 光子 文京学院大学客員教授、前国際労働機関（ILO）駐日代表

■運営委員

大島 芳雄 (特活) エファジャパン
胤森 なお子 グローバル・ヴィレッジ
白木 朋子 (特活) ACE
塩田 正行 日本労働組合総連合会（連合）
伴野 保志 (特活) フリー・ザ・チルドレン・ジャパン（FTCJ）
見里 朝士 国際食品労連日本加盟労組連絡協議会（IUF-JCC）
北澤 肯 フェアトレード・リソースセンター
寺中 誠 (社) アムネスティ・インターナショナル日本

■事務局長

岩附 由香 (特活) ACE

以上